

ふみこの チャレンジ通信



発行 山下ふみこ後援会「ふみことステキな仲間たち」 討議資料
〒410-0022 沼津市大岡1556-2 TEL.055-962-2509
ホームページ <http://www.yamashita.fm/> メール:fumiko@yamashita.fm

2期目のスタートです！

皆様のおかげで貴重な議席を頂くことができました。本当に多くの方々の応援を頂き感謝申し上げます。

「鉄道高架事業が、何故このまちに必要なのか」 その思いが4年前に組織も地盤もない私を仲間と一緒に選挙に挑戦させました。そして4年前よりもっと強く、この事業が次世代に大きな重荷になると確信しています。

また、近い将来、M8クラスの東海地震の発生が危惧されている中で、特に沼津市は県下で最も津波の被害が甚大だと言われ、地盤的にも液状化の問題が深刻です。

3.11を契機に私たちの価値観は大きく変わりました。

いま、本当に必要なことは何か！？

次の世代に未来をつなげていくことは、私たちの責任です。

この4年間、決してぶれることなく全力で向き合ってきました。この経験を活かし強い意志を持って、誠実に取り組んでいきます。これからも宜しく願いいたします。

山下ふみこ



選挙戦開始の朝。支援者に囲まれ、さあスタート！



被災地では、がれきの撤去で



志高〜く！日本一の富士山登山。やったー！

東日本大震災 被災地・福島県いわき市久之浜



5月と7月に4回現地入り。福島第1原発から約30キロ圏内の「久之浜」は、若い世帯は避難をし、子どもの姿はなく、復旧から取り残されていた地区でした。そこで被災地の方との交流から、現地で何が起きているのか、がれきの撤去作業を通して、現地への今後の継続的な支援と共に東海地震による津波や浜岡原発の問題について考える

「復興と地域防災を考える会」を一緒に行った静岡県東部の仲間と立上げ、東部全体の取組みを開始しました。

講演会・イベントでの

義援金 288,992円。

ご協力ありがとうございました！

「東日本大震災から沼津の防災を考える」塩坂先生講演会
「東日本大震災のチャリティーボリング大会」
「浜岡原発の危険性」ぬまづ大好き塾主催の講演会

中古軽トラックと救急箱を購入。

また、現地の要望で集めたシーツ・タオルケット・枕等の夏用寝具20セットも義援金と共に「北いわき再生発展プロジェクトチーム」(福島県いわき市)に届けました。



現地で大活躍

沼津朝日

2011年(平成23年)10月4日(火曜日)

第17591号

(日刊)



沼津朝日新聞社
〒410-0888 沼津市末広町34
TEL 962-4840 FAX 962-4590
URL numaasa.com
1ヵ月 710円・1部 40円

底をつく駅周辺整備基金

24年度には現金残高ゼロに

沼津駅周辺整備基金の現金残高が底をつきそうになっていることが、先月二十六日の市議会定例会(一般質問での)山下富美子議員(未来の風)の指摘で明らかになった。土地開発公社(理事長・鈴木好晴)副市長が買った鉄道高架用地の買い戻しを市が前倒しして行っているため、「このままでは24年度には現金残高がゼロになる見通し。沼津駅周辺整備事務局の橋本美局長は取材に対して、「他の課への貸付金を含む沼津駅周辺整備基金で買い戻しをしていくが、それ以上のコメントは控えたい」としている。

用地買い戻し前倒しで負担

どうなる庁内他課への貸付金

沼津駅周辺整備基金は今年三月末時点で、現金二十九億円のほか、庁内他課(整備課、市街地整備課、道路建設課、商工振興課)への貸付金があったが、土地開発公社が先行取得している鉄道高架事業用地を買い戻すため、二十三、二十四年度で合わせて二十九億円を支払わなければならない。山下議員は「総額百億円の土地を先行取得した公社から買い戻す予定の土地はどれだけあり、財源はどうするのかをたずねた。橋本局長は「二十三年度以降、買い戻す土地の面積は五九六七〇平方メートルで、財源は沼津駅周辺整備基金(一)とし、地開発公社は、市から頼

沼津駅周辺整備基金の現金残高が底をつきそうになっていることが、先月二十六日の市議会定例会(一般質問での)山下富美子議員(未来の風)の指摘で明らかになった。土地開発公社(理事長・鈴木好晴)副市長が買った鉄道高架用地の買い戻しを市が前倒しして行っているため、「このままでは24年度には現金残高がゼロになる見通し。沼津駅周辺整備事務局の橋本美局長は取材に対して、「他の課への貸付金を含む沼津駅周辺整備基金で買い戻しをしていくが、それ以上のコメントは控えたい」としている。

また、鉄道高架関連用地を購入している。これは契約内容に基づいて返済計画と同時に返済していくというもので、例えば第一種公社経営健全化団体(沼津市土地開発公社)の契約内容に基づいて返済計画なので、なんら心配はないと考えている」と答弁した。

土地開発公社の経営状況について要原財務部長は「当期の準備金合計が一億七千四百円あり、次期への繰越金が生じており、経営は健全にされている」と述べた。

また、所有権変更の不適合を指摘する償還(貸付金)一、二億円(うち、貸し付けが沼津駅周辺整備基金事業関連で行われたものであるにもかかわらず、基金への返済が一般財源から行われるのではないかと懸念を示した。

ふみこの一般質問

ふみこの

議会報告

今何が必要なのか？



6月議会・一般質問	答弁	答弁評価
1. 東日本大震災を踏まえ、東海地震に対する考え方について		
(1) 市民の命と財産を守る立場からどう向き合っていくのか	海抜、想定津波高等を表示する看板の設置、津波からの緊急避難場所としての避難ビルの確保	○
2. 浜岡原発が沼津市に及ぼす被害想定と対策について		
(1) 計画停電の時にその真相を東電に開示するように求めたのか	計画停電実施は市のHPや広報めまづ、同報無線を活用し東電と連携を図り、情報の周知に努めた	△
(2) 浜岡は配管が断層を跨いでいるうえに敷地内に多くの活断層があるがその認識について	配管は断層をまたいでいるが、敷地内の断層は活断層ではないと聞いている	×
(3) 浜岡は運転停止になっているが、今、東海地震が来たら炉心溶融しないと言えるのか	現在浜岡は停止しており、稼働中に被災した福島原発と同様の災害が発生するとは考えにくい	×
(4) もし、浜岡原発に地震や津波でダメージを受けた時の経済的影響について	JR東海道、新幹線、東名高速、国道1号、物流や製造業への打撃、農水産物への放射能汚染や風評被害、観光業に大きな経済的損失があると認識	○
(5) 現在、浜岡原発が停止しているが電力の不足はあるのか	中部電力の浜岡依存率は14%。浜岡は休止だが火力発電所を2基再稼働し需給の確保はある	○
9月議会・一般質問	答弁	答弁評価
1. 財政状況と土地開発公社からの買い戻しについて		
(1) 市民に対して保有している公社の土地の実勢価格を公表すべきと思うが	公社所有の土地の実勢価格を求め、公表することについて考えていない	×
2. 香貫山の保全と利活用		
(1) これまで多くの委員会等で検討してきたにも関わらず、何も実行されなかったのは何故か	費用がかかるという点や自然への負荷が大きいということが理由。利活用について指針作りを進めているので、市民による懇話会に提言を頂く	△

◆ 財政調整基金大丈夫？

経済の不況や災害の発生等による予期しない不測の事態に備える積立金。

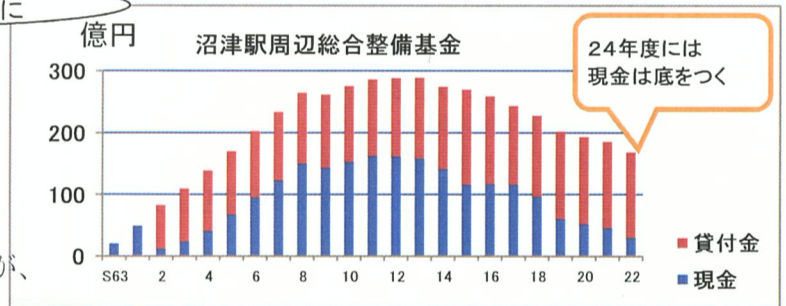
住民一人当たりの 県平均 41,407円
沼津市 10,994円
県内23市中22番目！



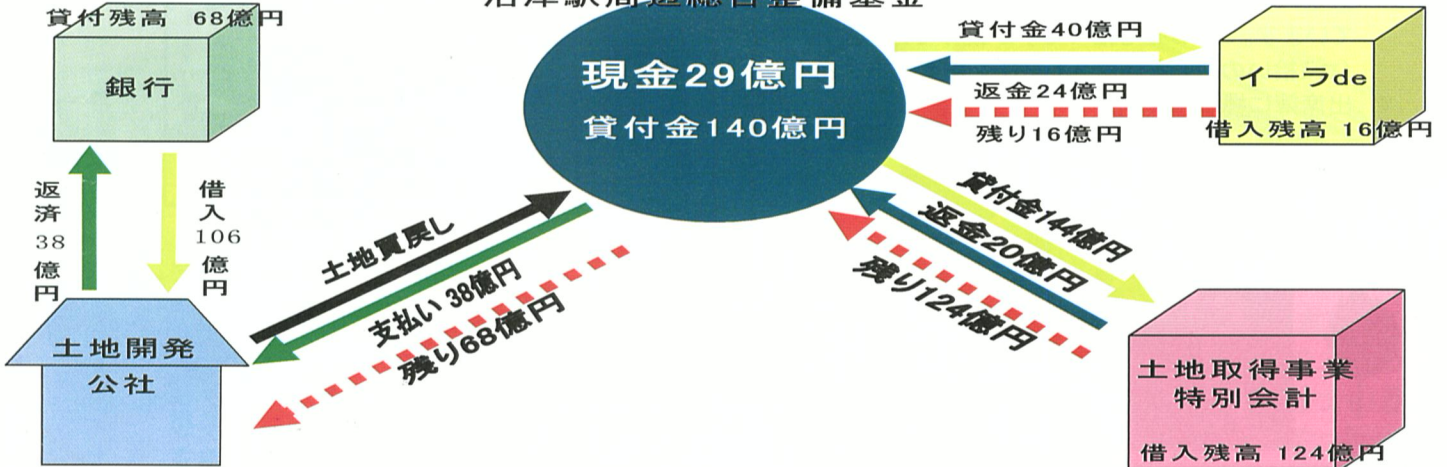
高架事業は始まっていないのに

◆ 土地取得だけで基金はゼロへ！

22年度末で現金29億円と市各課へ約140億円の貸付がある。しかし、貸し付け返済の具体策はなく、24年度には土地開発公社から鉄道高架事業用地を買い戻すために29億円が必要。また、貸付金の返済は、土地を売却して充てるのだが、取得時の50%にまで値下がり、貸付金が全て返済できる目途は立っていない。



平成22年度 沼津駅周辺総合整備基金



カラコロン食事会 with地域のなかま

「カラコロン」は平成4年度の市道町婦人会役員から始まりました。
会を重ねるたびに、煮物・漬物・手作り菓子を皆が持参し楽しく続け、あっという間に1年の任期が終了。次は「おしゃべりの会」として続けましたが、平成10年に我が会長さんの突然の死。

これを機に、地域で食事会をしようと、会長さんがよく下駄をはいては♪からんころん♪と歩いていたので、それを偲び、「カラコロン」と名付けました。



現在は約20名の70代を中心とした地域の人たちと一緒に、月に1回、昼食を作り、食事・お話・歌等を楽しみながら、そして、何よりも仲間の明るい笑顔が嬉しくて続けています。
(杉本)

第25回 香貫山清掃ボランティア お知らせ

11月13日(日) 9:00~10:00 (雨天中止)

集合場所: 香陵台の茶店前

持ち物 : 軍手 (ごみ袋あり)

連絡先 : 香貫山影奉仕

962-2509(山下)

どなたでも参加自由です。一緒にやりましょう!

毎月1回、香貫山のゴミ拾いを始めて2年半。当初は不法投棄が多く、毎回情けない思いをしつつも、仲間とめげずに続けてきました。最近になってやっとゴミが少なくなってきたと実感しています。これからも細々ですが続けていきます。(ゴミ拾いのお知らせはメルマガや香貫山頂上ある出席簿に掲示します。)



夢子プロジェクト キックオフ!

一生懸命作業されている障害を持つ方々と一緒に何か出来ないだろうか、そんな思いからスタート。

作業される方々の自立に足りうる賃金を得るために、また、製品を購入する方にも喜んでいただくためには、付加価値の高い商品(高くても欲しいと思わせる商品)と、売れる道筋をつけることが必要だと考えました。

まずは、障害を持つ方々が織った色とりどりの生地を使い、デザインや商品構成、作るしくみ・売るしくみを具体化しようと活動を始めました。

賛同してくださる方、ぜひご協力ください!

夢子プロジェクト一同

山下ふみこの 市政報告会

日時 2011年11月19日(土)

時間 13:50~15:30

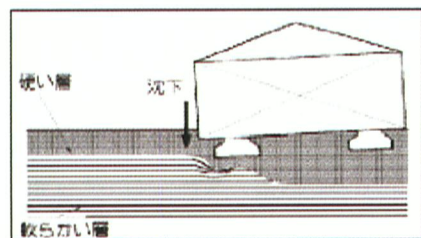
場所 健康福祉プラザ「サンウェルぬまづ」
2階大会議室 (日の出町)

★★ふみこの本音トーク★★

「本当に必要な事に税金が使われているのでしょうか」
税収入の減少が及ぼす沼津市の財政を分析します

★★★★ 特別講演 ★★★★★

理学博士(地質) 小柳津 篤
「沼津市の地盤ってなんだろう」
～地震が来たら・・・を考える～



あなたの家は大丈夫?
地震時には液状化などが発生するため、建物の損害がさらに違う

連絡先 沼津大好き塾
055-962-2509